

特別企画：高田馬場心不全チーム医療オンラインカンファレンス 議事録

開催日時：2020年5月29日 19:15-20:50

会場：Zoomミーティング

参加者：65名

職種：医師、看護師、理学療法士、作業療法士、薬剤師、ソーシャルワーカー、ケアマネジャー

テーマ

『地域でみる新型コロナウイルス感染症』

1. ショートレクチャー

「地域の医療介護職に役立つコロナ最新情報」

ゆみのハートクリニック 西原 崇創

✓ 日本と都市部の動向

累積感染者数：約 16,600 人 死亡者：約 860 人（5月28日現在）

— 本来の医療システムの流れを取り戻さなければならない

✓ COVID-19の基礎知識

症候例と無症候例には同等のウイルス量・軽症でも長期間（数週間）症状が継続する

✓ 最新エビデンスをどう地域に活かすか？

多職種介入により多くの"目"がある・いつもと何か違う！という感覚を大切に

2. 症例検討

「在宅でこんな患者さんがいたらどうする？」

本町訪問看護ステーション 村崎 佳代子氏

症例：90代男性 要介護1 独居（長女・次女が週1～2回訪問）

#うっ血性心不全 #狭心症 #冠動脈ステント留置 #肺気腫：HOT 1L #認知症

訪問診療・訪問看護・訪問リハ・訪問介護・訪問薬剤管理を利用

午前2時、長女より体調不良の連絡があり緊急訪問。布団にくるまり臥床。

体温 38.2 脈 75 血圧 138/69 酸素 95% 体熱感+ 湿性咳嗽+ 痰+

寒い。眠れない。具合が悪い。どこが辛いかわからない。

主治医へ報告。レンドルミン1錠内服指示あり、内服介助。

翌日に医師が往診し、抗生剤点滴、内服スタート。2日後に解熱した。

濃厚接触者とならないような環境・チーム間での情報共有と支え合い → どう対応する？

3. ワークショップ：みんなで考えよう！「ひと・もの・しくみ」再流行期へ向けて

参加者を「ひと・もの・しくみ」のグループに自動的に振り分け、各グループでディスカッション

- **ひと**

コミュニケーション

スピード感をもった情報共有

地域の医療従事者を守る必要性

地域での助けあい

- **もの**

コミュニケーション

物資の不足と備蓄、代替方法

SNS の有効活用

患者側の足りないもの

地域での物品シェアのしくみ作り

- **しくみ**

コミュニケーション

発熱患者の対応

医療従事者の精神的ケア

病診連携の強化

地域サービスの受け入れ情報

地域の専門チームの設立

事業所毎の判断が違うため統一した方向性を示す

オンライン診療の有効利用

抗体検査や PCR 検査の適正使用

次回

2020年11月19日（木）19:00～20:45